

今後のスケジュールについて

2023年6月19日 第9回持続可能な調達ワーキンググループ

公益社団法人
2025年日本国際博覧会協会
企画局 持続可能性部



大阪・関西万博の現在の状況について

■ 起工式を実施

大阪・関西万博の開幕2年前となる2023年4月13日に、夢洲の博覧会会場で起工式を実施。公式参加国や民間パビリオン出展者への敷地引き渡しを行うとともに、会場建設工事を本格化していく。

個別基準の対象となる「木材」を使用した建設工事が順次開始されるものと想定。



起工式（2023年4月13日）

■ International Planning Meeting（国際企画会議、IPM）を開催

大阪・関西万博の参加を招請した国・地域や国際機関を対象にIPMを開催（2022年10月、2023年6月）。万博開催に向けた各事業の取り組み状況等について説明し、その中で調達コードの概要を紹介。



2022年10月：タイプAの参加国を対象に開催



2023年6月：タイプB・タイプCの参加国を対象に開催

テーマウィークについて

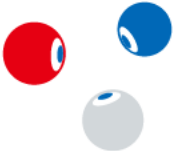
■テーマウィークとは

- ・世界中の国々が半年間にわたり同じ場所に集う万博の特性を活かし、地球的規模の課題の解決に向けて英知を持ち寄り、対話による解決策を探る取り組み
- ・1週間ごとに地球的課題をテーマに設定し、主催者だけでなく、公式参加国、出展企業等の万博参加者、全国の自治体や産業界等が集い、解決策を話し合う「対話プログラム」と、行動のための「ビジネス交流」などを実施

■テーマ設定の考え方

大阪・関西万博の3つのサブテーマから、地球的規模の課題を幅広く対象としてテーマ構成を設定。

- ・『いのちを救う』の観点 → 人と地球上の生命を脅かす課題
- ・『いのちに力を与える』の観点 → 誰もが幸福で豊かな生活を送るための課題
- ・『いのちをつなぐ』の観点 → 社会を豊かにするための課題



テーマウィークについて

■テーマ構成

分類	テーマ(ウィーク名)	テーマ (問い)	テーマ領域
いのちを 救う 人と地球上の生命 を脅かす課題	地球の未来と生物多様性 ウィーク	豊かで多様ないのちが住む地球を未来に残すために、私たちは何をすべきか？	気候変動、脱炭素、生物多様性、サーキュラーエコノミー、再生可能エネルギー、水素社会、ネイチャーポジティブ、森林破壊、海洋汚染、里山再生、淡水資源 など
	健康とウェルビーイング ウィーク	一人ひとりのウェルビーイングが共鳴する社会をどう実現するか？	感染症対策、ウェルビーイング、ゲノム医療、再生・細胞医療・遺伝子治療、PHR、健康寿命、SBNR、安全な水とトイレ など
	平和と人権 ウィーク	あらゆる差別をなくし、互いを尊重し合う社会を実現するために、世界は何をすべきか？	飢餓、貧困、格差社会、人権侵害、児童労働・強制労働、人身売買、障がい者参加、ジェンダー平等、LGBTQ、女性の活躍推進、移民、人間の安全保障、多様性と包摂性 など
いのちに 力を与える 誰もが幸福で豊かな生活を送るための課題	食と暮らしの未来 ウィーク	全ての人々が食と暮らしに困ることがない未来はどのようにすれば実現できるのか？	フードロス、フードテック、食育、食文化、スマート農林水産業、サステナブルファッション、エシカル消費 など
	学びと遊び ウィーク	AI時代において人は何を学べば良いのか？	生涯学習、EDTEC、知財活用、個別最適化学習、遠隔教育、若者自立、教育格差、STEAM、アントレプレナーシップ、世界の遊び など
いのちをつなぐ 社会を豊かにするための課題	未来への文化共創 ウィーク	多様な文化が共鳴し、未来への文化が共創されるために、私たちは何をすべきか？	伝統芸能、歴史遺産、地域活性化、観光、アート、音楽、スポーツ、文化芸術、クールジャパン、マンガ・アニメ、eスポーツ など
	未来のコミュニティとモビリティ ウィーク	誰もがその人らしく生きられるコミュニティとは？	スマートシティ、デジタル田園都市、防災・復興、メタバース、宇宙、ロボット、EV・FCV、自動運転、空飛ぶクルマ、サイバーセキュリティ、MaaS など
いのち輝く未来社会のデザイン まとめ(最終選)	SDGs+Beyond いのち輝く未来社会 ウィーク	SDGsは達成できるか？ そして、その先はどうする？	SDGs、ポストSDGs、いのち、未来社会、Society5.0 など

2023～2025年度の主な活動内容、スケジュールについて

今後、大阪・関西万博終了までの期間（2023～2025年度）における、調達コード関連の主な取り組みは以下のとおり。

（1）調達コードの改定

本日審議した調達コード改定案を「持続可能性に配慮した調達コード（第2版）」として公表する。
それ以降は、見直しの要否について検討し、必要であれば調達コードを改定する。

（2）調達コード遵守状況の確認・モニタリング

調達コードの遵守状況確認等を目的に事業者ヒアリングを実施する。調達に関わる事業者からリスクの高さ等により対象を選定してヒアリングを実施し、調達コードに関する取組状況等を確認する。また確認の結果、必要に応じて改善や取組みの充実を求める。

（3）通報受付対応

本日審議した通報受付対応に基づき、通報受付窓口を設置し、調達コード不遵守に関する通報を受け付け、適切に対応する。

調達コード遵守状況の確認・モニタリングについて

大阪・関西万博の全体スケジュールを考慮し、各年度の事業者ヒアリングは以下のように計画している。

年度	大阪・関西万博	事業者ヒアリング
2023	<ul style="list-style-type: none"> パビリオン敷地引き渡し、建築工事開始 万博公式ライセンス商品販売中 	主に個別基準「木材」の調達に関わる事業者、およびライセンス商品の製造・販売に関わる事業者から対象を選定し、ヒアリングを実施する。
2024	<ul style="list-style-type: none"> 催事参加者、内容等決定見込み 営業参加（飲食、物販）参加者決定見込み 	主に個別基準「農産物、畜産物、水産物、パーム油」の調達に関わる事業者から対象を選定し、ヒアリングを実施する。
2025	<ul style="list-style-type: none"> 万博開催 	主に万博会場で確認できる事項（計画と実施内容の相違等）について確認し、必要に応じて事業者に対するヒアリングを実施する。

■ 2023年度実施内容について

今年度は主に、木材の調達に関わる事業者から契約金額の大きさ、製造所所在国等により対象を選定し、また公式ライセンス商品の製造・販売に関わる事業者を対象にしたヒアリングを予定している。

ヒアリング実施結果について、第10回調達WG（2024年2月頃開催予定）で報告を予定。

